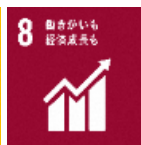
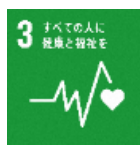


施策の柱3 事業活動における環境配慮の普及

取組⑤ エコオフィス行動の普及推進

■取組の方向性

事業所全体でエコオフィス化に取り組む体制を整えるとともに、運用改善などの省エネルギー対策を計画的に進めることにより、事業活動からの温室効果ガス排出量の削減に取り組みます。



■具体的な取組

取組の主体	取組の内容
事業者	・社員研修等を通じて事業所全体でエコオフィス化に取り組む体制を整えます。 ・電気・燃料等のエネルギー使用量について、日常的な計測・把握・記録に努め、「見える化」を通じて従業員の省エネルギー意識の向上と対策の実践につなげます。 ・生産工程における不要な動力、熱、照明等の使用を見直し、無駄なエネルギーを削減します。 ・エネルギーを使う設備・機器を適切に点検整備し、エネルギー効率の向上、エネルギー損失の防止・改善に努めます。 ・自動車を運転する際は、アイドリング・ストップなどのエコドライブを心がけます。 ・環境マネジメントシステムの導入を検討し、事業所内への普及、運用に取り組みます。 ・温室効果ガスの排出の少ない低炭素型製品やサービスの提供に努めます。 ・製品・サービスを購入する際は、環境にやさしい製品を優先するなど、グリーン購入を心がけます。 ・ICTを活用してテレワークなどの新しい生活様式を実践します。

取組⑥ 事業系廃棄物の発生抑制

■取組の方向性

事業系廃棄物の焼却処理等から生じる温室効果ガスを削減するため、事業活動に伴う廃棄物の減量、循環利用を促進し、事業系廃棄物の発生を抑制します。



■具体的な取組

取組の主体	取組の内容
事業者	・ ライフサイクルアセスメントなどを通じて生産工程を見直し、使用原料の抑制や廃棄物の減量に努めます。 ・ 事業活動から発生する廃棄物の発生抑制に努めます。 ・ 法令に基づいて廃棄物の分別を徹底し、資源の循環利用に貢献します。 ・ フロンを使用している機器等は、漏えい等がないよう適正に管理します。 ・ 業務用空調機器や使用済自動車など、フロンを使用している製品を廃棄する場合は、指定業者に委託して適正に処理します。 ・ 新たな製品・機器の購入の際は、ノンフロン製品を選びます。

施策の柱 4 低炭素化に向けた設備投資の促進

取組⑦ 建物等の省エネルギー対策の促進

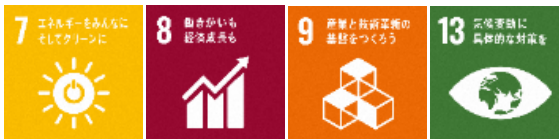
■取組の方向性

工場・オフィス等のエネルギー使用設備・機器等に関する情報提供や調査を通じて、保有する設備・機器の省エネルギー化や建物等の省エネルギー改修を促進します。

■具体的な取組

取組の主体	取組の内容
事業者	・ 設備の新設・更新の際には、高効率なトッランナー機器を選び、温室効果ガス排出量が増加しないように配慮します。 ・ 照明には、LEDなどの高効率な器具を選びます。 ・ 社屋の新築・改築時には、壁の断熱補強や複層ガラス・二重サッシの採用、屋根への遮熱塗装の実施などにより、断熱性能の向上を図ります。 ・ 建物全体で効率的なエネルギー利用を図るため、ビルエネルギーマネジメントシステム（BEMS）の導入を検討します。 ・ 省エネ診断の受診を通じて、建物等の省エネルギー改修を検討します。 ・ E S C O事業などを活用して、省エネルギー対策を計画的に進めます。 ・ 省エネルギー技術の開発に取り組みます。

取組⑧ 再生可能エネルギーの利活用



■取組の方向性

太陽光発電システムや太陽熱利用などの再生可能エネルギーの利活用を図り、事業所全体におけるエネルギー性能の向上を目指します。

■具体的な取組

取組の主体	取組の内容
事業者	・ 太陽エネルギーを利用した太陽光発電システム、太陽熱利用システムなどの再生可能エネルギー設備の導入を推進します。 ・ 工場廃熱など、現在未利用となっているエネルギーの活用を進めます。 ・ 社屋の新築・改築時には、ネット・ゼロ・エネルギービル（ZEB）への建て替えに努めます。 ・ 再生可能エネルギーを利用するなど温室効果ガス排出量の少ない、環境に配慮した電気を選んで使います。